

## 森永乳業(株) 神戸工場の見学

岡山県本部 入屋 健二

2017 年度 自主的グループ活動の一環として、10 月 5 日(木)、兵庫県神戸市灘区にある『森永乳業(株)神戸工場の工場見学会』を実施し総勢 18 名の参加者が、熱心に学び貴重な時間を過ごしました。

まず、工場に到着しますと、工場見学の案内スタッフの方々には丁寧にお出迎えいただき、おなじみの乳牛キヤラクターが沢山いる玄関前の芝生エリアにて全員で記念撮影。その後、コンファレンスルームに移動し、工場概要についての説明と牛乳・乳製品ができるまでの製造工程を、ビデオ映像で分かり易くプレゼンしていただきました。

そして、いよいよ工場見学となり、ショールームを通り抜け大きなガラス窓の見学通路から、実際にクリーンな室内環境の中で自動化されたラインで、製品が製造されているところを見せていただきました。参加したメンバー全員興味津々で、各種乳製品を見れば、これいつも食べているモノだ！ これ美味しいよ！ そして製造工程に目を移せば、人の手が触れることなく全自動化された工程に、人が少ないね！ 綺麗な工場だな！ といった声が聞こえてきました。まさしく、私達ひ素ミルクの被害者が最も関心のある安心・安全な製品づくりという点において、最新の技術に裏打ちされた、徹底した衛生管理活動を愚直に推進されている現場を肌で感じる事ができました。食品業界では、これ以上ないと言われている HACCP(ハサップ)を超えるレベルの品質保証システムも運用されており、危害要因分析を重視し、未然防

止と再発防止を徹底することで食品安全と品質を確保している。との説明をお聞きし安心と同時に感心した次第です。加えて、地球の環境問題にも積極的に取り組まれておられることにも、理解を深めることができました。工場見学は、約 90 分程度でしたが、様々なことを学び体感する事ができ、初期の目的は達成できました。ひ素ミルク事件を風化させないことは勿論ですが、縁ある森永乳業(株)が、今後も継続的な品質向上を目指し、益々生成発展されることをお祈りすると同時に、ご対応いただいたスタッフの皆さんに感謝しつつ帰路に着きました。

二点目に、今回の裏メニューですが、交通手段として新幹線でなく岡山駅から神戸灘駅まで JR 本線を使用しました。乗り換え回数も最低 3 回で片道所要時間は約 2 時間 30 分、往復で約 5 時間の旅程です。実は、この時間がとても大切で、平素ゆっくりと話が出来ないメンバー相互に、車窓から流れる秋の景色を眺めながら、小旅行気分も味わえて会話もはずみ、あっと言う間の移動時間で、コミュニケーションの活性化による相乗効果も生まれ、守る会での新しいミルク仲間も増えた様に感じます。

今後も、この活動がより多くの方が気軽に参加出来る様に、継続的な活動にできたらと思います。

